

わくわく田底っ子

第13号

文責：校長 益永 一幸

メディアと上手に付き合おう（学校保健委員会）



7月18日（火）の5校時に「学校保健委員会」を開催しました。学校保健委員会とは、学校の健康課題を、学校・校医・PTA/地域が連携し研究や協議をすることで、子どもたちの健康保持増進を図ることを目的とした会です。まず、保健委員会が、メディア使用と健康状況に関するアンケート調査の結果とそこから見えてくる課題について発表しました。田底小のメディア使用に関する課題は、「使用時間が長い人がいる」「夜遅くまで使用し、寝る時間が少ない人がいる」「家庭での使用ルールを決めていない人が多い」「フィルタリングをしている人は少ない」「メディア使用で困ることが起きた事例がある」でした。

そこで、「メディアと上手に付き合う」ためのヒントを得るために、熊本市教育センター指導主事の山下先生に「メディアと上手に付き合おう」というテーマで講話をしていただきました。その中で、メディアと上手に付き合う3つのポイントを教えていただきました。

- ① 自分の心や体が健康でいられること（使い過ぎに注意）
- ② 無理なく続けられること（実行可能なルール作り）
- ③ お家の人も納得できるものであること（お家の人の思いも考え共有納得のルール作り）

講話の後は、各学級からの感想や意見、校医・歯科医・児童民生委員・保護者からのご意見をいただきました。この学びをもとに、各学級では自分の「メディア使用の振り返り」と「メディア使用の目標決め」をしました。自分のメディア目標をもとに、夏休みに「夏休みすこやかカード」で自己点検し、実践化を図ります。保護者のご協力が必要です。まずは、上に挙げた3つのポイントで「お家のメディア使用ルール」を作ることから始めてください。

田底小学校を退任「福岡信次 先生」「正岡星滯音 先生 ～ありがとうございました～

田底小学校を支えていただいた2人の先生が退任されることになりました。学校主事補助の福岡信次先生は、これまで施設の修繕や草刈りなどの環境保全に努められ、子どもたちとも昼休み時間も一緒に遊んでいました。学校図書館司書補助の正岡星滯音先生は、図書館にくる子どもたちへの声掛けや図書委員会の活性化を頑張ってくださいました。福岡先生は夏休み最終日まで、正岡先生は1学期終業式までの勤務となります。ありがとうございました。

1学期 → 終業式 → 長～い夏休み

38日間という長～い夏休みです。しかし、最初は長く感じる夏休みも、過ごし方次第では、「あっという間に」終わってしまいます。もったいない夏休みにするか、有意義な夏休みにするかは、「時間を大切に過ごした過ごし方」がポイントです。終業式では、「浦島太郎」を話題にして「時間を大切にする過ごし方」について話しました。

浦島太郎から学ぶ

1学期で一番楽しかった学習は何でしたか。一番がんばった学習は何でしたか。わかった・できたと思えた授業は何でしたか。みんな「やってみよう」という気持ちで取り組みましたか。校長先生から見ると皆さん一人一人が天才級のがんばりを見せた学期だったと思います。

さて、明日から待ちに待った夏休みが始まります。何日あるか分かりますか。何と38日間あります。どんなことをがんばり、どんなことを楽しみにしていますか。

皆さんは「浦島太郎」のお話を知っていますか。浦島太郎が、浜辺を歩いていると、子どもたちがカメをいじめていました。それを見た浦島太郎は、そのカメを助けたので、ご褒美として竜宮城に連れて行ってもらいました。竜宮城では、タイやヒラメの踊りを見ながら乙姫様のごちそうを食べるなどして、楽しい時間があっという間に過ぎてしまい、乙姫様から玉手箱をもらい、元の浜辺に帰ることになりました。浜辺に戻ってみるとそこはまるで様子が変わり、知っている人は誰一人いませんでした。悲しい気分になりながら玉手箱を開けてみると、中から白い煙が出てきて、浦島太郎はあっという間にお爺さんになってしまったというお話です。

校長先生は、学校の先生になって、34年の月日が流れました。その34年間は、今考えると一瞬の出来事でした。まるで、浦島太郎のような気持ちです。20代の頃は年を取るなんて考えたこともありませんでした。しかし、こうして昔を振り返ってみると「時間というのは、あっという間に過ぎてしまう。」ことを思い知らされています。

夏休みだって、あっという間に終わってしまいますよ。長そうに思える夏休みも、時間を無駄にしているとあっという間に過ぎて何をしていたのかと、夏休みが終わった後、悲しい気持ちになりますよ。

浦島太郎のお話は「時間はあっという間に過ぎてしまう。だから、今という時間を大切にしてください。」ということ伝えるお話だと校長先生は思います。

このように、「時間はあっという間に過ぎてしまう」ものです。だから、夏休みという大切な時間を、自分や周りの人たちのために大切にに使ってほしいと思います。

なかよし運営委員会企画

「くさぬきボランティア」

毎年のことですが、田底小の運動場には、草が中心部に広がってきます。子どもたちが中心となって、朝から外に出て草抜きをしています。くさぬきボランティアチェック表にもシールを貼り、学年の競い合いもしながら楽しくボランティアをしています。ありがたいです。

